

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援トレーニングらんぱす		
○保護者評価実施期間	令和6年7月1日		～ 令和6年7月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和6年7月1日		～ 令和6年7月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年8月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本格的スポーツ活動の実施	大きな体育館を利用し様々な器具を使い運動を行っている。 個人種目はもちろん、団体競技にも積極的に取り組んでいる。 (ボッチャ・フットサル・フロアーカール他)	町のバスケット連盟等の子供たちとの交流や、大会出場などに取り組んでいきたい
2	他事業所(高齢者・精神障がい)との連携	長期休みを利用し、交流を行っている。	交流を続けていくために、こちら側からできることを提案し今以上に関わられるように取り組んでいきたい。レクリエーションの提案など
3	子どもたちの活躍の場を広げていること(作品展への出展など)	他事業所と連携し、町の図書館や町の催しものなどに参加、作品展への出展を通し子どもたちの活躍が目に見えて評価される機会を提供できる取組を行っている	作品展を中心に行っているが他にも活躍できる場がないか他事業所や、町の方の助言をもらい取り組んでいきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動に参加していない保護者への周知が徹底されていない	発信力が不足している。多くの保護者に様々な活動を理解、周知して頂くことにより多くの利用者様に参加頂き活動の場を広げて頂きたい	タイムリーに発信していく。現在はアプリの活動記録により発信しているが、活動前にもこんな活動があると発信することにより様々な活動を知って頂く
2	利用者へのデジタル教材の指導が少ないこと	一人一台のパソコン・タブレットがないのでデジタル教材の指導ができていない	補助金等を活用し一人一台のタブレット等が準備できるように策を練っている
3	音楽によるアプローチ	保護者からの要望が多い、音楽を使った支援・ダンス(リズム感)などの時間があまりない。	防音室の積極的利用、スタッフの音楽レクリエーション指導の研修参加により行っていけるように対策している